

私の日本での生活

ナポリ東洋大学

ロベルタ・デ・ルカ

日本に行くことはずっと私の夢でした。子供の時、セーラームーンというアニメを見たことがきっかけで日本にますます興味を持つようになりました。日本に関する映画やドキュメンタリーを見るだけでなく、日本料理にも興味を持つようになりました。要するに、日本に関わる全てのことが私を魅了する力を持っていました。今でもそのように感じています。日本は常に私を驚かせ続けてくれます。

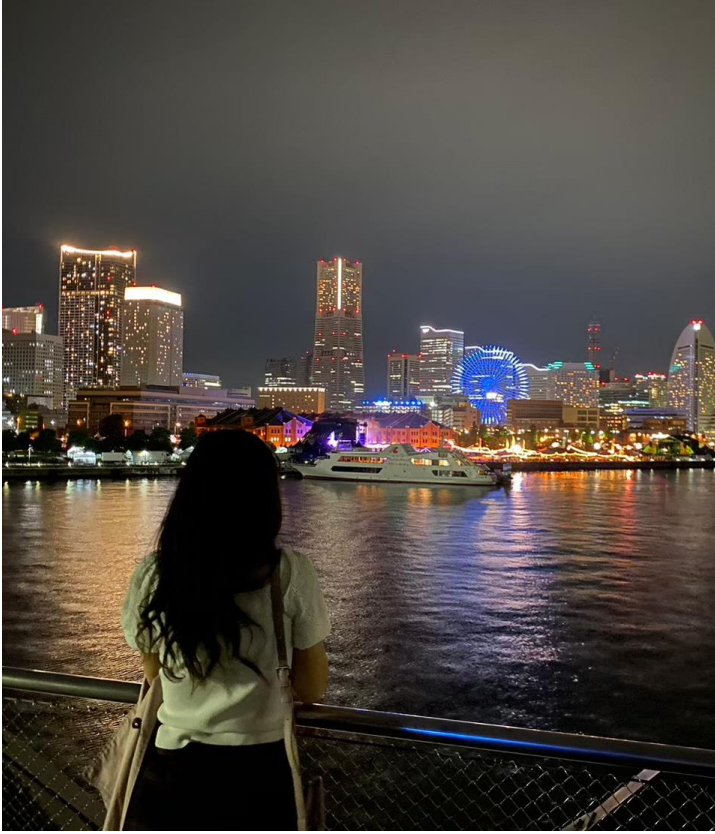


日本への情熱に駆られて、ナポリ東洋大学に入学しました。一生懸命勉強して5年経った今、やっと日本に留学することができてとても幸せな気分になりました。今年の3月に日本に着いて、初めは思っていたよりも日本での生活に慣れるのが少し難しかったです。家族や友達が恋しくて、とても寂しかったです。こういう気持ちのために、大学に入ってからもうまく行きませんでした。

普段と比べて私はより内向的になって、自信を失っていました。そのため、最初は授業で日本語を話すことが難しく、できないと思っていました。それでも時間が経つにつれて、私は日本語を落ち着いて話すことができるようになって、今では毎日授業を楽しんでいます。お茶の水女子大学の先生方のおかげで私はできました。常に

私をリラックスさせてくれました。

日本では色々な素晴らしくて忘れがたい経験をしました。新宿とか渋谷とか目黒川とか横浜とか、その時まで色々な想像していた場所を見ることができました。ちょうど3月の下旬に着いたので、花見さえ楽しめました。桜を見ることは息をのむほど美しかったです。5月には箱根に行って初めて温泉に行く体験もしました。実は、行って楽しかったのです、もう一度行きたいです。また、私は音楽と日本の伝統芸能にも興味があるので、特別な授業に参加できて本当に嬉しかったです。その授業のおかげで、初めて浄瑠璃の演技と様々な歌舞伎の演技を見に行くようになりました。このようなことは、私が本を通してしか学んだことがなくて、生で見ること



ってくれてありがとうございます。すべての先生方、たくさん支援をいただいてありがとうございます。

ができたのは素晴らしい経験でした。

7月に足立の花火大会を見ることができました。こんなに近くで、こんなに長い間花火を見たことがありませんでした。素晴らしかったです。大学の特別なレッスンのおかげで、生まれて初めて着物や浴衣を着ることができて、生け花を楽しむことができて、そして茶道を体験することができました。

最後に、埋忠先生、毎月の振り返りシートをご確認してくださって日本の伝統芸術の授業に参加させていただいて心から感謝しております。チューターの神崎のさん、困った時に手伝